



# J A U W

## F U K U O K A

(一社) 大学女性協会  
福岡支部会報  
2017.4.30 発行

第 39 号

### 第 55 回通常福岡支部総会

日時： 2016 年 4 月 24 日 (日・祝)  
11:30 - 15:00  
於： ホテルニューオータニ博多地下 1 階  
「大観苑」  
出席： 16 名 委任状：9 名

1. 開会の言葉 (総会成立審査報告)  
司会： 石田雅子
2. 支部長挨拶 支部長：加藤仁美
3. 議事  
【報告事項】
  - (1) 事業報告 書記： 青沼美撫子
  - (2) 決算報告 会計： 桑原洋子
  - (3) 会計監査報告 会計監査：石田雅子【審議事項】
  - (1) 次期支部長と役員選出及び紹介 加藤仁美  
新支部長 ~ 青沼美撫子  
会 計 ~ 桑原洋子  
会計監査 ~ 石田雅子  
書 紀 ~ 矢田和子 / 加藤志鈴子  
メール担当 ~ 相良かおる  
顧 問 ~ 和栗方子 / 加藤仁美
  - (2) 事業計画 (案) 石蔵幸代  
予算 (案) 桑原洋子
4. 新支部長挨拶 青沼美撫子
5. 閉会の言葉 石田雅子
6. 食事
7. ミニバザー
8. 卓話「2015 年 JA U W 全国セミナーの報告」



講師：田部井世志子 会員

司会の石田会員により、議事の報告、審議事項、支部長、役員も決まり、総会が終わり食事となりました。

梅居会員ご紹介のホテルでの雰囲気あるレストランで、中華料理とは思えぬほどの薄味で味わい深いお料理が、美しい食器に盛られて、次々出され美味しくいただきました。1月の新年会が、豪雪のため中止となり卓話とミニバザーをこの総会でする事になりました。

卓話の田部井会員は、2014年、「絶対」の否定の面白さー物語 (The Missing Piece) を通して一の講演の後、会員になられ、「全国セミナー」に出席されての報告でした。「リーダーは一人だが、

リーダーシップはみんなが持てる」と言う言葉に引かれたそうです。分科会には「これからの女性と仕事」に参加され、ドイツやスウェーデンの制度の進み方に驚かれたとか。

「女性の自立を阻むものをいかにして克服していけばよいのでしょうか」の問いかけに、個人として「自分の文化」（自分の生き方や価値観）にとらわれず、他の人の文化にも目を向ける柔軟さを身に着ける必要があると述べられ、大いに納得できました。

ミニバザーも皆様に喜ばれ完売。ご協力ありがとうございました。

（青沼 美撫子）

## 第5回定時会員総会

2016年5月21日(土)	評議委員会・支部長会	於：神戸ポートピアホテル
	懇親会	出席：青沼
5月22日(日)	総会	出席者：114名(委任状392名)
23日(月)	研修旅行	

第1部 定時会員総会

第2部 会員総会

公開講演会「楽天のダイバーシティとイノベーション」

講師：三木谷 浩史氏（楽天株式会社代表取締役会長兼社長）



会員以外で一般申込者91名が前席に座る満員の会場に、東京からヘリで駆けつけた三木谷氏は、ご自分の生い立ち、「楽天」誕生のプロセス、人との関わりの中で事業を拡大し、中でも、ダイバーシティ（多様性）がイノベーション（変革）を生み、インターネットが世界をどう変えるのかを追求しつつCSR(会社の社会貢献)にも力を注ぎ、社内言語を英語に変えたことで、世界中から優れた人材が集まり業績に反映されたとのこと。個人的に知りたかった講演内容に満足した。

（青沼美撫子）

## 熊本支部交流

◇ 「大堂 喜三子傘寿記念展」（大堂熊本支部会員による書画展） ◇  
日時：6月2日（木）  
会場：熊本県立美術館  
分館ギャラリー

熊本大地震（4月14日/16日）の後でもあり、熊本へのアクセスは高速バスを止め、安全なJRに変えたものの復路の時間のロスが大きかった。落下した神社の屋根は放置され、熊本城の石垣はひび割れ、会場の2階から見た天守閣も無残であった。

このような状況の中、大堂会員が80歳を迎え、一つの区切りとしての初個展の開催を決行されたのは意義深いと思った。

会場のディスプレイは大胆で目を引き、作品は縦書き、横書き、漢字、平仮名、片仮名ありで墨の濃淡、線の太さ加減、金文字で、好みの俳句や詩を、伸びやかに自由に力強く書かれていた。繊細で丁寧な日本画にも感じ入った3人だった。

（青沼美撫子）

## 6月公開講演会

1. 講演「地震に備えて地震に自信！」  
講師：尾崎 功氏（福岡市都市局係長）
2. 報告「熊本大地震の調査、報告」  
報告者：加藤 仁美 会員

日時：6月26日（日）  
13：30－15：30  
会場：早良市民センター3F  
第1会議室  
出席者：会員10名 他2名

以前「日本沈没」という映画があった。地震と火山の噴火で日本全土が海に沈没する話でご覧になった方も多いと思う。

昨今、日本国内では、神戸の大地震の惨状がやや回復してきたと思っていたら、今度は東北地方のさらなる壊滅的な被害、そして身近な熊本・大分の地震と日本全土を地震が駆け廻り「日本沈没」へとむかっているようなさまである。

そんな折6月の例会は地震をテーマとしたものであり、まさに時を得た講座であった。

福岡市の防災担当者による講義で、地震のメカニズムを地質学的に何枚ものプリントで詳しく説明された。活断層についても福岡市内の各断層の場所を図で示され危険地帯を把握することができた。

防災担当者の話は地震のメカニズムだけではなく、地震が起こったときの防備と避難についても細やかな説明があった。避難場所へは下見をしておくこと、防災グッズはどのようなものが必要かなど、防災グッズの準備と点検。私も防災用品は通販で買っているが、買ったなら安心して、箱のままポンと押し入れに仕舞い込んでいる。ときどきは中を点検しなければと反省した。

前支部長からはご自身が熊本へ行かれ、被害状況をたくさんの写真に収められていて、それをご説明いただいた。小さいころからよく訪れたあの曲線美を誇る熊本城の石垣が無残に壊れていることに、胸が痛んだ。

防災に対して日頃のんきに構えていたことへの警鐘として良い例会であったと担当者に感謝する。  
(船津 桂江)

## 7月公開講演会

1. 講演「男女共同参画ってなあに」  
講師：宮崎 岳彦氏（アミカス 副館長）
2. 朗読劇「男女共同参画社会ですから」
3. 話し合い

日時：7月31日（日）  
13：30－15：30  
会場：旧あいれふ 9F 研修室D  
出席者：会員5名 他6名



女性の人権の推移と現状をわかりやすいレジメに沿って話された。「多様化する社会」には多様な視点が必要であり、人口減少社会での女性の状況を知り、女性の労働力の低下、管理職割合の低さ（国際比較）、地域諸団体の長への女性参画の低さの問題は、地域活動に男女共同参画の視点と「性別や世代の隔たりなく、多様な人材が参画しなければ立ち行かない」状態がそこまできていると感じた。女性も男性も一人一人が自分らしく生き、生活に幸せや生きがいを感じられる社会の実現に向けて努力したいものである。

2部の朗読劇は皆さん声優になられたつもりで、登場人物のパートを演じられ、3部では出席者の皆さんが、本日の講演、朗読の内容、目標を理解された上での発言が相次ぎ、参考になりました。

(青沼美撫子)



## 9月公開講演会

「ご存知ですか～1人に1つマイナンバー（社会保障、税番号制度）～」

講師：河津 真樹子氏（福岡市総務企画局 システム刷新課長）

日時：9月4日（日）

13：30～15：30

会場：中央市民センター2F  
第3会議室

出席者：8名 他2名



台風接近のニュースが流れ、今にも降り出しそうな空模様の9月4日、市民センターの卓を囲んでお話しが始まりました。

講師は福岡市の総務企画局、システム刷新課の若き女性課長です。知っているようで知らない、判っているようで判っていないマイナンバーについて説明が始まりました。12桁ものマイナンバーが国民の一人一人につくというこの制度の主な目的は、

- ◆ 公正公平な社会の実現（脱税の防止等）
- ◆ 国民の利便性の向上（種々の手続きの際の書類の削減等）
- ◆ 行政の効率化（大量の情報の照合、入力等の省力化）

というものでした。

マイナンバーは生涯に亘って使用するものなので、大切に保管し、悪用されたり便乗した不正な詐欺等にあたりしないようにと細かい注意があり、万一紛失時の処理、マイカードの申請方法等の説明がありました。また個人情報の保護については、国のシステムの面でも措置がとられているとのことでした。

マイナンバーの実施の流れとしては、既にマイナンバーの使用は始まっているものの、本格的な実施としては平成29年7月からとなり、種々の認定請求の手続きや源泉徴収票への記載等、さまざまな場面で必要となります。

説明のあと、既に実際に何度も使用を求められた会員のお話や、マイポータルに移行する際の疑問点等、専門的な質問も出て有意義な例会となりました。

(石蔵 幸代)



## 男女共同参画で地域力UP！アミカスネットによる 講演会

「『おばちゃん』が愛とシャレで世界を変える！」

講師：谷口 真由美氏（大阪国際大学准教授）

日時：10月22日（土）13：00～16：00

会場：アミカス4F 大ホール

出席者：320名 会員5名

昨年に引き続き、アミカスの支援により「アミカスネット」を核とした22の諸団体（福岡支部も加入）が、力を結集し男女共同参画の活動の輪を拡げるべく、この講演会を企画した。三回にわ

たる実行委員会を経て実現できた。

谷口氏は41歳の若さながら「おばちゃん」を自称し、おばちゃんは、わからんことは「わからへん」と言い、おかしいことは「おかしい」と言え、「おばちゃん」を自認するのは、「ある種の女性解放やと思う」と述べられた。

「力の弱いもん、声の小さいもんが、大切にされる社会がええねん」と語り、男性全てを否定するのではなく、上から目線の「オッサン」ではなく、手を組めるのは「おっちゃん」であって、独善的な「オッサン」みたいな女性を「オバハン」と呼ぶと言われ、その違いがよくわかった。「困っている人」を放っとかない「おばちゃん力」を発揮して、ユーモアと風刺を心がけ、笑って共感してもらおうと、世の中が、ちょっとずつ変わるんです、とユーモアたっぷりに話を締めくくられました。

助成金の不足分はチケット販売で補い皆様のご協力に感謝です。

(青沼美撫子)

## 一日ツアー 食事と施設訪問

### “マクドナルドふくおかハウス” 訪問

日時：11月27日(日)

11:30-16:00

場所：

(1)レストラン「達」

(2)ドナルド・マクドナルド・  
ハウスふくおか(福岡市立  
こども病院敷地内)

出席者：会食8名

施設見学者：6名



今年の1日ツアーは青沼支部長の企画で福岡市の人工島に立地する「マクドナルドふくおかハウス」を訪ねました。

秋も深まった11月27日(日)の昼前、先ず都心天神のレストランに顔を合わせ、会議と昼食を共にしました。

会議では、福岡支部で大学女性協会の福祉奨学金を受賞したこと、支部事業としてネパールの女子教育を支援しているいきさつから、ネパールとの友好記念行事に参加したことなど、嬉しい報告が続きました。

さて、“マクドナルドふくおかハウス”は東区の博多湾に造成された人工島「アイランドシティ」にある市立こども病院の敷地内にあります。募金を基に2015年5月に全国10番目としてオープンした、心臓病の子供など集中治療室入院の家族が直ぐ傍で安く安心して宿泊できる施設です。16宿泊室と自炊が出来るキッチンと食堂があり、家族同士のコミュニケーションも出来ます。利用期間は最大4週間、1人1泊1000円で利用でき、運用は3名の職員のほかは殆どがボランティアで支えられているということです。ボランティアの90%は女性で、現在126名の登録があり、月に2回、1日3時間の勤務、仕事は主に清掃、チェックアウト補助、小物づくりなどだそうです。

このように募金とボランティアで未来を担う子供たちの命を支えている施設の存在に深い感動を覚えました。そして阪神淡路大震災後、災害時に大きな力を発揮してきたボランティア活動がこのような所にも活かされていることを知ることが出来ました。バスでゆっくり往復し、心満たされた1日でした。(加藤仁美)

**桑野 楓夏さん、2016年度社会福祉奨学金を授与される** 日時：2017年1月7日(土)

会場：(東京)京王プラザホテル4F

桑野さんは、ご自分で検索され奨学生募集の情報を得て、福岡支部に応募されました。他の応募生3名とともに、書類を本部に提出しましたところ、桑野楓夏さん(筑紫女学園大学 2年)が採用決定されました。桑野さんは重度の障がいながら、学業に励み、何事もポジティブに活動されていることが、本部に評価されたものと思います。贈呈式には本部のご好意により、介助で同伴されたお母様の交通費を支給して頂き感謝しております。桑野さんについては「JAUW 会報 第260号の表紙の写真と8頁をご覧ください。(青沼美撫子)

## 新年会とミニバザー

卓話「加藤美術館創設とその周辺」

講師：加藤 志鈴子会員

日時：1月22日(日)

12:00 - 15:00

於：西鉄グランドホテル

地下1F「桃林」

出席：会員14名

西鉄グランドホテル地下1階「桃林」に於いて新年会が取り行われました。

青沼支部長の簡潔なご挨拶の後、加藤志鈴子会員が加藤美術館(ご主人様の日本洋画のコレクションが古民家で展示されています。)について、興味深いお話をして下さいました。お家の前庭には柿の木が何本もあり、秋には沢山の実がなり、収穫可能なので、



「その頃にいらして下さい。」とのお誘いを受けました。是非、皆でお邪魔しましょう。フレンチ・スタイルで供されたランチはどれも美味、梅居会員のお口添えがあり、通常コースのスープが、春雨からフカヒレへと昇格ということもあって大満足のお食事でした。

食後、城崎会員から九州工業大学で取り組んでいらっしゃる研究「新規生体材料(人工歯・臓器・骨など)」の説明がありました。

持ち寄ったバザー用品は短時間で完売。ご協力ありがとうございました。

世界情勢の変化が著しく、先行きいささかの不安も感じる2017年の幕開けですが、創立70周年女性協会会員の私たちは、大きくは世界平和を目指し、「すべての女性が輝く明日のために」力を尽くして行きたいと願っています。(榎谷 紀子)

### 3月勉強会

講演「調停から見た よもやま話」

講師：船津 桂江会員

日時：3月12日（日）

於：あすみん（旧児童会館）

出席：8名



「調停」とは「訴訟によらないで争いを解決する方法」でADRの1つだといわれた。私にはADRとは初めて聞く話で、「裁判外紛争解決手続き」のことだそうだ。身近なものには「交通事故紛争処理センター」や「そんぽADRセンター」「証券・金融商品あっせんセンター」行政機関では「国民生活センター」「建築工事紛争審査会」などなどがあり、身近な事例を挙げてわかりやすく解説された。私には初めて聞く話だったので、とても参考になった。国が作っている「法テラス」

（福岡市は南天神にある）は紛争解決の方法を相談する「総合案内所」で、無料であり弁護士等費用の建て替えもするという画期的機関で利用者は多いとか。

1. 裁判所で行われている調停には「家事調停」と「民事調停」があり、「家事調停」は「離婚」「遺産分割」などの家族関係のみを取り扱い、家庭裁判所で行われる。その他すべての事件、例えば「交通事故」「債務問題」「近隣トラブル」「セクハラ・パワハラ等」「建築問題」「売買契約」「雇用関係」「労働問題」など、ありとあらゆる紛争は民事調停で取り扱い、地方裁判所内で行われる。愛人問題は家事調停ではなく、他人が入るから「民事調停」だそうだ。事例の話では私の常識とはかけ離れたものもあり、驚かされた。会員からの質問の中に最近では雇用に際し「パワハラ」の注意があるが、との質問に世情を感じた。

調停と訴訟の違いは、調停は「非公開」であり、「手続きも簡単」「費用」は訴訟に比べ安価とのこと。

2. トラブル解決に必要なことは知識に加え「解決しようとする意志と行動力」が求められると話を締めくくられた。

これからの生活に大変有益な話で太字で、簡潔に作られたレジュメに大いに助けられた。



（青沼美撫子）

#### <その他>

- ① 「福岡市暴力追放協議会総会」に出席

日時：6月8日（水）14:00 – 15:00

会場：エルガーラ 7F 多目的ホール

出席：1名

- ② 「日本・ネパール国交樹立 60 周年 ラブグリーンネパール（LGN）との交流 25 周年 集記集会 in 福岡」

日時：8月23日（火）13:30 – 15:30

会場：福岡県教育会館 2F

記念講演 「ネパールの教育事情と LGN の活動」

出席：2名

講師：アミーラ・ダリさん／サンガット・カジさん／ドルマ・ラマさん

## 会員近況ご紹介

### 1. 西原そめ子会員

3年がかりで本を書きました。仏教や宗教に興味のない人も、歴史が好きな人には一読に耐えると思います。

「こぼれ話」は純粹に、私の随筆です。また、昨年暮れより、西日本新聞日曜版に「ふくおか古刹・名刹巡り」を、巡拝寺院ライターという肩書きで署名入りで執筆しています。1年間執筆予定です。（西原 そめ子会員の弁）

書名 「百八観音霊場ガイド」（254頁）

出版社 西日本新聞出版部（3月末出版）

価格 1,500円（消費税は著者負担） TEL.&FAX 092-751-1205

### 2. 持松 志帆会員

この度、本部70周年記念事業の1つとして発行される本部奨学生の言葉を集めた文集の原稿依頼を受け、持松会員を推薦、投稿していただきました。発行が待たれます。

---

---

## 大学女性協会（JAUW：Japanese Association of University Women）

1946年に創設され、1954年に国際大学女性連盟（IFUW：1919年創立）に加盟。2012年に一般社団法人となり、IFUWと協働しながら女性の地位向上を目指す、公益活動を行う非政府組織（NGO：Non-Government Organization）です。奨学金事業、女性リーダーの育成、国内外の諸問題に対する唱道活動など多様な事業を展開しています。

Web ページ：<http://www.jauw.org/>

### 会費

入会金 1,000円（正会員のみ）

年会費 正会員 7,000円（IFUW年会費を含む）

賛助会員 6,000円

福岡支部は、1947年に設立され、支部会費は2,000円です。

## 国際大学女性連盟（IFUW：International Federation of University Women）

世界61カ国の大学卒業女性による 国際非営利、非政府団体です。

本部はジュネーブにおかれ、3年ごとに加盟国各国回り持ちで総会が開かれます。以下の目的を達成するために、各国でさまざまな状況に応じて活発な活動を展開しています。また、国連諸機関に代表チームを派遣し、世界の重要な問題に対して直接発言をしています。

### 目的

1. 女性の生涯にわたる教育を推進する
2. 国際協力、友情、平和と人権を推進する
3. 女性の地位の向上を擁護し、支持する
4. 公的および私的な生活でのリーダーシップと意思決定において、女性がその知識と技術を活用することを奨励する